

学年	高校1年	教科	国語科	科目	言語文化	単位数	3
教科書名	高等学校 言語文化 (第一学習社)		副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新しい古典の学習 2in1 スタイル 学ぶぞ 古文と漢文 (尚文出版) ステップアップノート 30 古典文法基礎ドリル (河合出版) 基礎からのジャンプアップノート漢文句法演習ドリル (旺文社) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)			
コース・クラス	N進						

I. 目標

古典作品を読む能力を身に着けることを通して、ものの見方、感じ方を広くさせるとともに、言語文化に対する関心を持たせ、理解を深める。

II. 授業のねらい

- 1 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり等について理解し、知識を身に付ける。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。
- 3 先人が書いたものに触れることで、思想や人間のありようを知る。

III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 『学ぶぞ 古文と漢文』を使用して古典文法・漢文句法の学習を行う。
また、『古典文法基礎ドリル』や『漢文句法演習ドリル』を使用して文法・句法定着のための演習を行う。
- 3 副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。

IV. 学習上の留意点

- 1 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机上に置いておくこと。
- 2 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読、書き下しを行うこと。
- 3 不明点はそのままにせず、授業後や放課後等を積極的に活用してすぐに解消すること。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 『宇治拾遺物語』、『戦国策』, 古文単語, 初見問題
- 1 学期 期末試験 : 『伊勢物語』、『戦国策』, 古文単語, 初見問題
- 2 学期 中間試験 : 『徒然草』、『十八史略』, 古文単語, 初見問題
- 2 学期 期末試験 : 『土佐日記』、『十八史略』, 古文単語, 初見問題
- 3 学期 学年末 : 『枕草子』, 漢詩, 古文単語, 初見問題

VI. 評価の方法

定期試験を中心に、小テストや提出物の状況も踏まえて総合的に評価する。

- 1 定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができているか。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができているか。
- 3 提出物…積極的に授業に参加するとともに課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができているか。

VII. 授業計画

- ※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』より「児のそら寝」 ・歴史的仮名遣いの復習	・小テスト ・提出物 ・定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 用言（動詞・形容詞・形容動詞）を理解する。 本文中に出てくる用言を認識できる。 古語辞典の引き方を習得し、わからない語句を調べるとともに、古今異義語の意味の違いを確認する。また、本文に即した意味を選択し、現代語訳に反映できる。 	
	5	・用言の活用① ・文学史（説話） 故事『戦国策』より「漁父之利」 ・訓点の復習と漢文基礎知識			<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基礎知識を理解する。（訓点・書き下し・置き字・返読文字） 現在使用されている語句の由来を理解する。 遊説家がたとえ話を通して伝えたかったことを理解する。
	6	歌物語『伊勢物語』より「芥川」 ・用言の活用② ・助動詞：ず・き・けり ・文学史（歌物語） 故事『戦国策』より「蛇足」			<ul style="list-style-type: none"> 用言（主に動詞）の活用を理解し、本文中の用言を認識できる。 打消、過去の助動詞を理解する。 上記の助動詞を認識し、現代語訳できる。
7	・漢文基礎知識 ・再読文字	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基礎知識を理解し、訓読できる。 再読文字を理解する。 現在使用されている語句の由来を理解する。 遊説家がたとえ話を通して伝えようとした主張を理解する。 			
二学期	9	随筆『徒然草』より「丹波に出雲といふ所あり」 ・用言の活用③ ・助動詞：つ・ぬ・たり・り ・文学史（随筆）	・小テスト ・提出物 ・定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 用言（主に形容詞・形容動詞）の活用を理解し、本文中の用言を認識できる。 完了・存続の助動詞を理解する。 上記の助動詞を認識し、現代語訳できる。また、本文の内容を理解できる。 	
	10	史伝『十八史略』より「完璧」 ・句法：受身・使役			<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基礎知識を理解し、訓読できる。 句法を理解し、正確な書き下し文をつくり、現代語訳ができる。 史伝の舞台となる時代背景を理解する。また、本文から登場人物の人物像を読み取ることができる。
	11	日記『土佐日記』より「門出」 ・助動詞：なり（識別）・む（むず・じ・めり・らし） ・係助詞			<ul style="list-style-type: none"> 断定・推量・推定の助動詞を理解する。 上記の助動詞を認識し、現代語訳できる。また、本文の内容を理解するとともに記録としての日記とは異なる表現技法や執筆意図を読み取ることができる。

	12	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史（日記） 史伝『十八史略』より「先従魏始」 <ul style="list-style-type: none"> ・句法：使役・抑揚・反語 		<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基礎知識を理解し、訓読できる。 ・句法を理解し、正確な書き下し文をつくり、現代語訳ができる。 ・賢者がたとえ話を通して伝えようとした主張を理解する。
三 学 期	1	随筆『枕草子』より「中納言参りたまひて」 <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞：す・さす・しむ・べし・まじ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・提出物 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の基礎を理解する。また、敬語表現から人物関係等を読み取る。 ・使役・尊敬・推量の助動詞を理解する。 ・今年度学習した助動詞等の知識を活かして現代語訳をし、内容を理解するとともに筆者のものの見方や考え方を読み取ることができる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語（基礎） ・陳述の副詞 		
	3	漢詩（教P180 唐詩の世界）		